



---

# HACCPクリエイター チュートリアル

---

HACCPクリエイター ver.3.1.0

株式会社サン・プランニング・システムズ



- **iGrafx FlowCharter オペレーションガイド**は、下記URLよりダウンロードいただけます。

<ユーザーサポートページ>

URL : <http://sps-product-support.com/bpm/check/>

- **HACCPクリエータ ユーザーズガイド**および**管理者キットユーザーズガイド**は、下記をご確認ください。

「スタート」→「iGrafx」フォルダ

※ユーザーサポートページは、ご購入後に利用できるサイトです。

ユーザーサポートページでは以下のサービスをご提供しています。

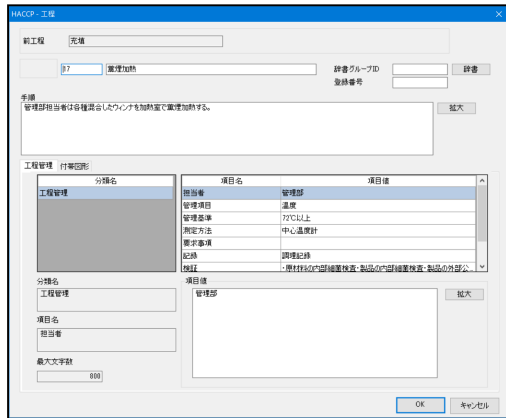
- ①ガイドのダウンロード
- ②オートデモの参照
- ③FAQ

# ■ 本資料の目的

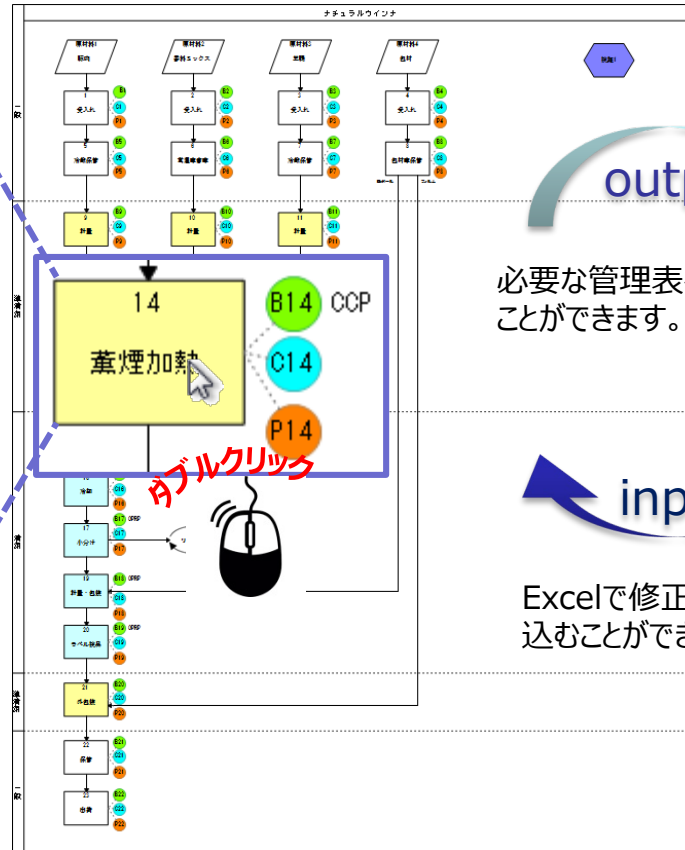
HACCPクリエータ製品を利用した業務フローの作図方法や図形情報の登録、帳票出力についてご紹介いたします。

## 入力画面

項目に沿って情報を登録



## フローダイアグラム



## 出力できる帳票



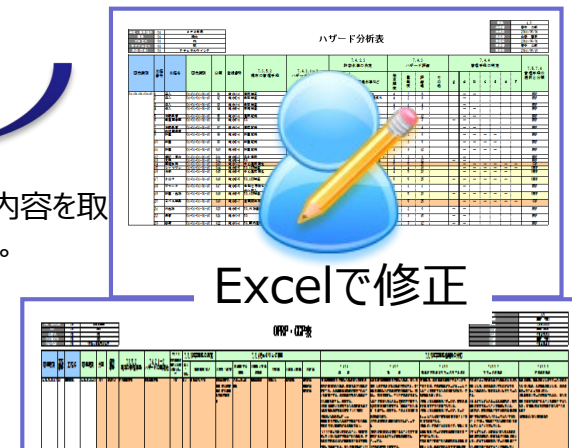
output

必要な管理表を出力することができます。

input

Excelで修正した内容を取込むことができます。

Excelで修正



# ■ 1. iGrafxを起動する

ユーザズガイド  
P10を  
ご参照ください。

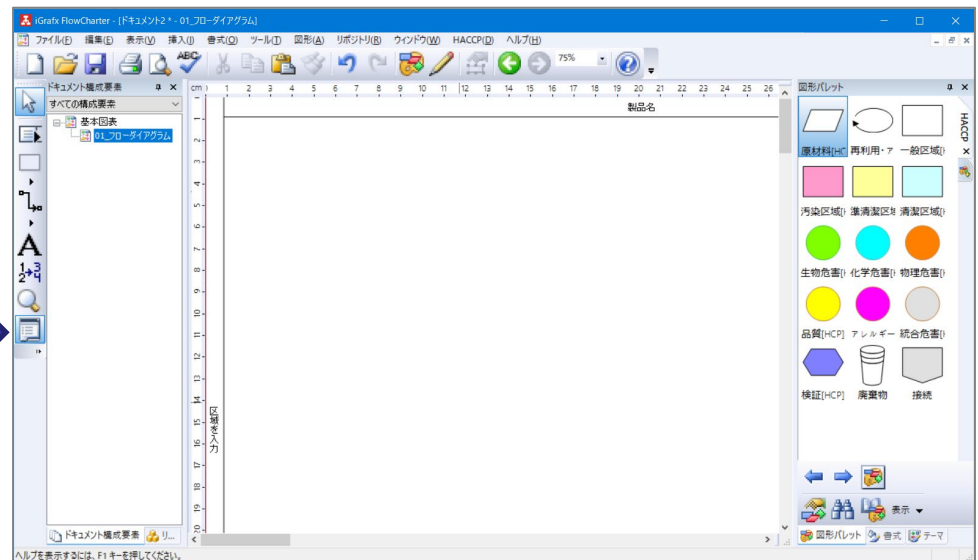
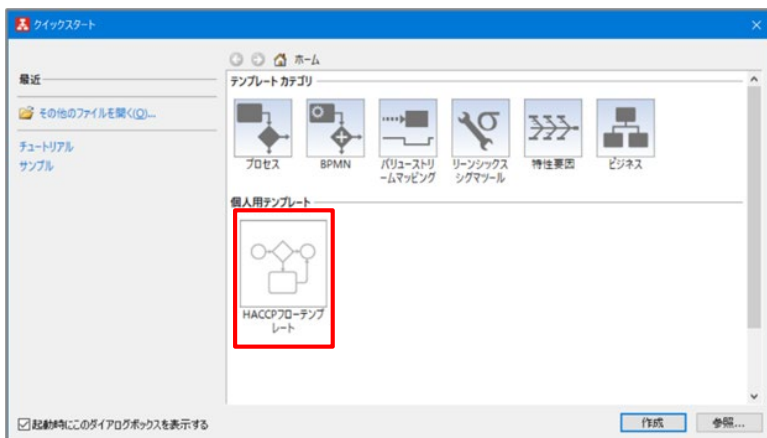
iGrafx®

HACCPクリエイターでは、フローダイアグラムを作成するためのテンプレートと専用の図形集が準備されています。以下の手順でテンプレートを開いてください。

- ① Windows「スタート」ボタン - 「iGrafx」フォルダ - 「FlowCharter」を選択し、iGrafx FlowCharter を起動します。
- ② 「クイックスタート」ダイアログボックスの「個人用テンプレート」より「HACCPフローテンプレート」を選択します。または、「ファイル」メニュー - 「新規作成」より「HACCPフローテンプレート」を選択します。

※個人用テンプレートに「HACCPフローテンプレート」が表示されていない場合は、次のページ手順に沿ってテンプレートファイルを登録してください。

## HACCPフローテンプレート

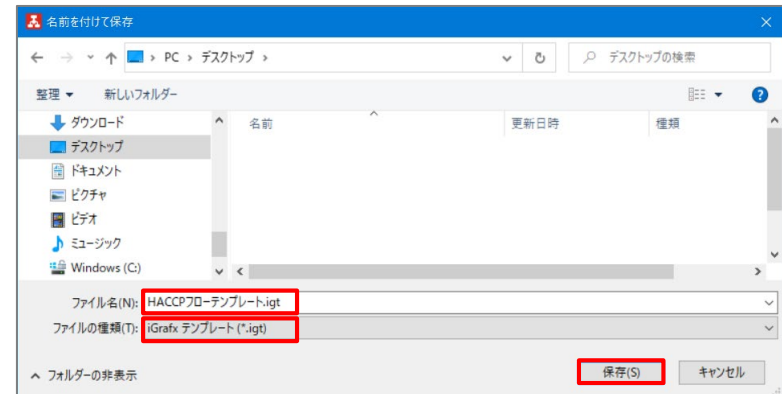


## ■ 2. iGrafxテンプレートの登録方法

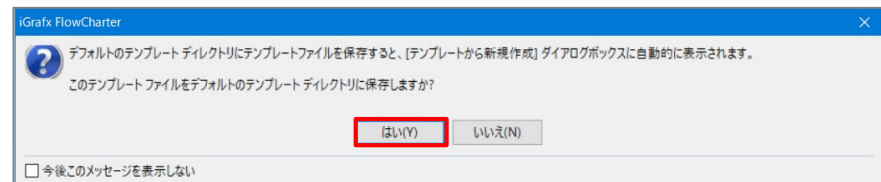
ユーザーズガイド  
P10を  
ご参照ください。

iGrafx®

- ① Windows の「スタート」ボタン - 「iGrafx」フォルダ - 「HACCPサンプルファイル」を選択します。
- ② 「Sample」フォルダが開きますので、「HACCPフローテンプレート.igt」をダブルクリックして開きます。
- ③ 「ファイル」メニューより、「名前を付けて保存」を選択し、保存する場所をデスクトップなど任意の場所に変更します。
- ④ 「ファイルの種類」は「iGrafx テンプレート」を選択し「保存」ボタンをクリックします。



- ⑤ メッセージが表示されますので「はい」ボタンをクリックします。

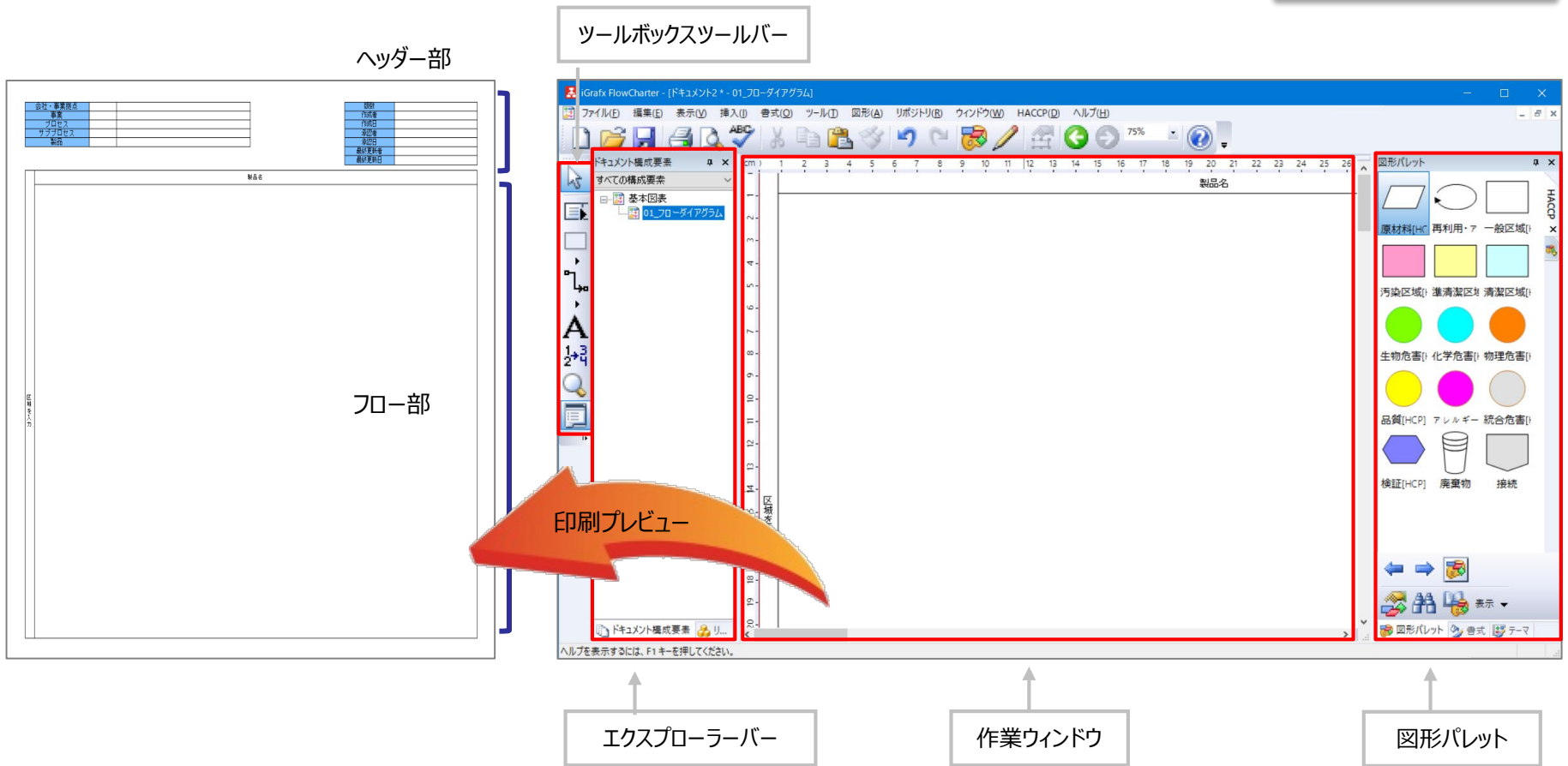


- ⑥ 表示のHACCPフローテンプレートは読み取り専用のため、「ファイル」メニューの「閉じる」を選択し、テンプレートを閉じます。  
次回より「クイックスタート」からテンプレートを開くことができます。

# ■ 3. HACCPフローテンプレートの構成

「HACCPフローテンプレート」は「フロー部」と「ヘッダー部」で構成されています。  
「HACCPフローテンプレート」を開くと画面右側にHACCP用の図形集が自動表示されます。

## 画面構成



## ■ 4. 図形パレットを開く

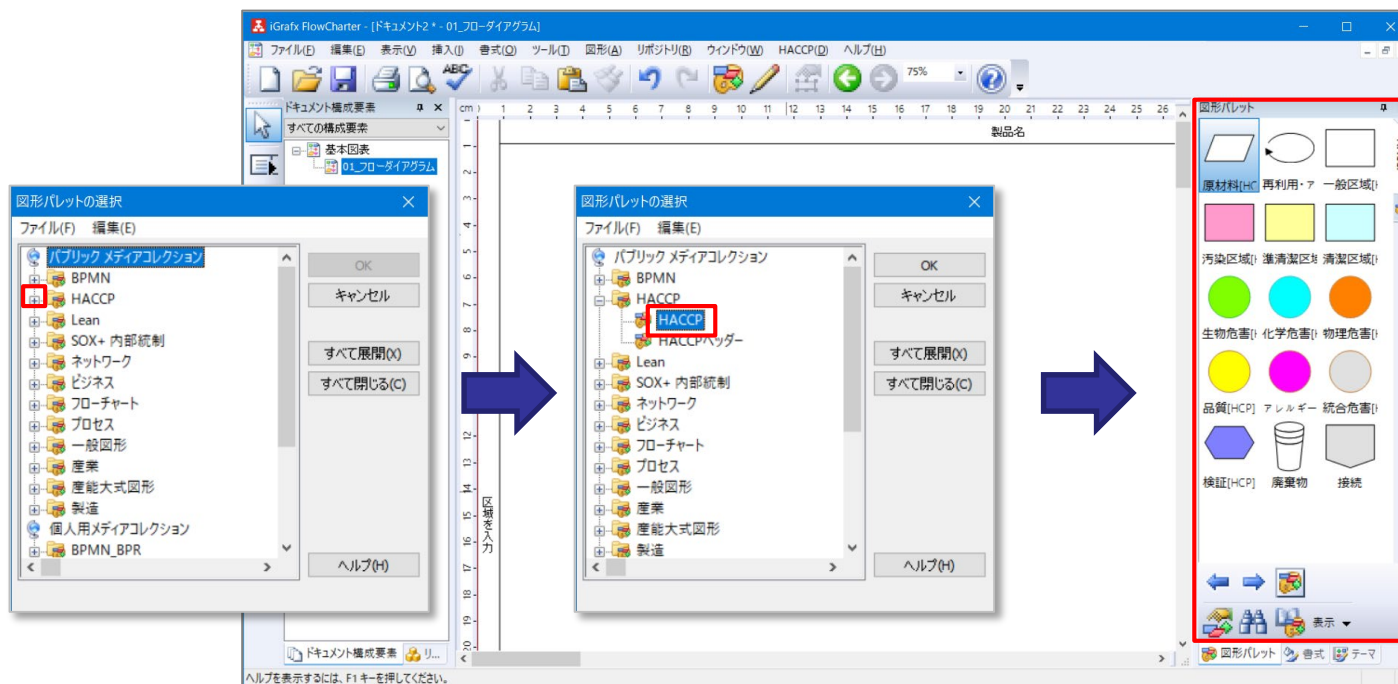
ユーザーズガイド  
P13-14を  
ご参照ください。

iGrafx®

図形パレットが表示されない場合は、以下の手順で開いてください。

### ■ 図形パレットの開き方

- ① 「F9」キーを押し「図形パレットの選択」ダイアログボックスを開きます。
- ② 「HACCP」の「+」をクリックします。
- ③ 「HACCP」をダブルクリックして図形パレットを開きます。



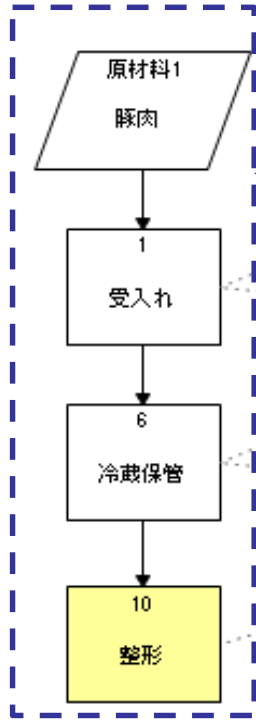
◆ オートデモ <iGrafx FlowCharter> 2 図形集&iGrafxテンプレート - 39 図形集の作成 - ①図形パレットについて をご参照ください。

# ■ 5. 図形の種類

HACCPクリエイター専用の図形には、「図形」と「グラフィック図形」の2種類があります。  
それぞれ配置方法が異なります。

**図形**

「危害」を表す図形以外は、すべて「図形」です。  
工程の順番を表現する時に、図形と図形を接続線で結び  
配置します。



**グラフィック図形**

「危害」を表す図形は、「グラフィック図形」です。  
「工程」図形に紐づけて配置します。



## ■ 6. 文書情報の入力 <ヘッダー情報>

ユーザズガイド  
P27を  
ご参照ください。

iGrafix®

「HACCP」メニューから「文書情報」を選択し、文書情報を登録します。  
入力した情報の一部はフローダイアグラムの印刷時、ヘッダーに自動出力されます。

区分	ID	名称
会社・事業拠点	01	SPS食品
事業	01	精肉
住所		
プロセス	01	肉

項目名	項目値
版数	1.0
作成者	田中 二郎
作成日	2018/06/01
承認者	山田 国歩
承認日	2018/06/01
最終更新者	田中 二郎
最終更新日	2018/06/10

① 「図表識別」は**必須入力項目**です。  
作成するフローダイアグラムを特定する  
ためのコードです。重複しないように  
管理をしてください。

② 区分より項目名を選択します。

③ 選択した項目の値を入力します。

④ 登録する「項目名」を選択します。

⑤ 選択した項目の値を入力します。

# ■ 7. 文書情報の入力 <製品情報>

ユーザーズガイド  
P28を  
ご参照ください。

iGrafix®

文書情報ダイアログボックスの「製品情報」タブに最終製品の情報を登録します。

HACCP - 文書情報

図表識別 01-01-01-10 図表区分 フォーダイアグラム

プロセス情報

区分	ID	名称
会社・事業拠点	01	SPS食品
事業	01	精肉
住所		
プロセス	01	肉

ID 01 名称 SPS食品

文書情報 **製品情報** 番号設定

分類名	項目名	項目値
8.5.1.3 最終製品の特性/8.5.1.4意図した用途	組成	豚肉、水、食塩、香辛料
	生物、化学、物理的特性	・一般生菌数:1000以下/g・亜硝酸根:70ppm以下・大腸菌群陰性
	シェルフライフ及び保管条件	・消費期限:製造日より14日以内・保存方法:要冷蔵(10℃以下)
	包装	・形態:真空包装・材質:プラスチックフィルム
	表示、取扱、調整、使用法	・保管:0~10℃・そのまま又は加熱して喫食
	配送方法	・出荷時:0~10℃・冷蔵車(0~10℃)による顧客への直接配送
	意図した用途	

分類名 8.5.1.3 最終製品の特性/8.5.1.4意図した用途

項目名 組成

最大文字数 1000

項目値 豚肉、水、食塩、香辛料

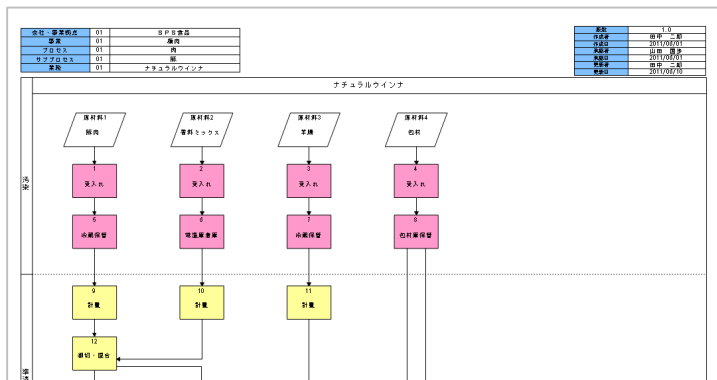
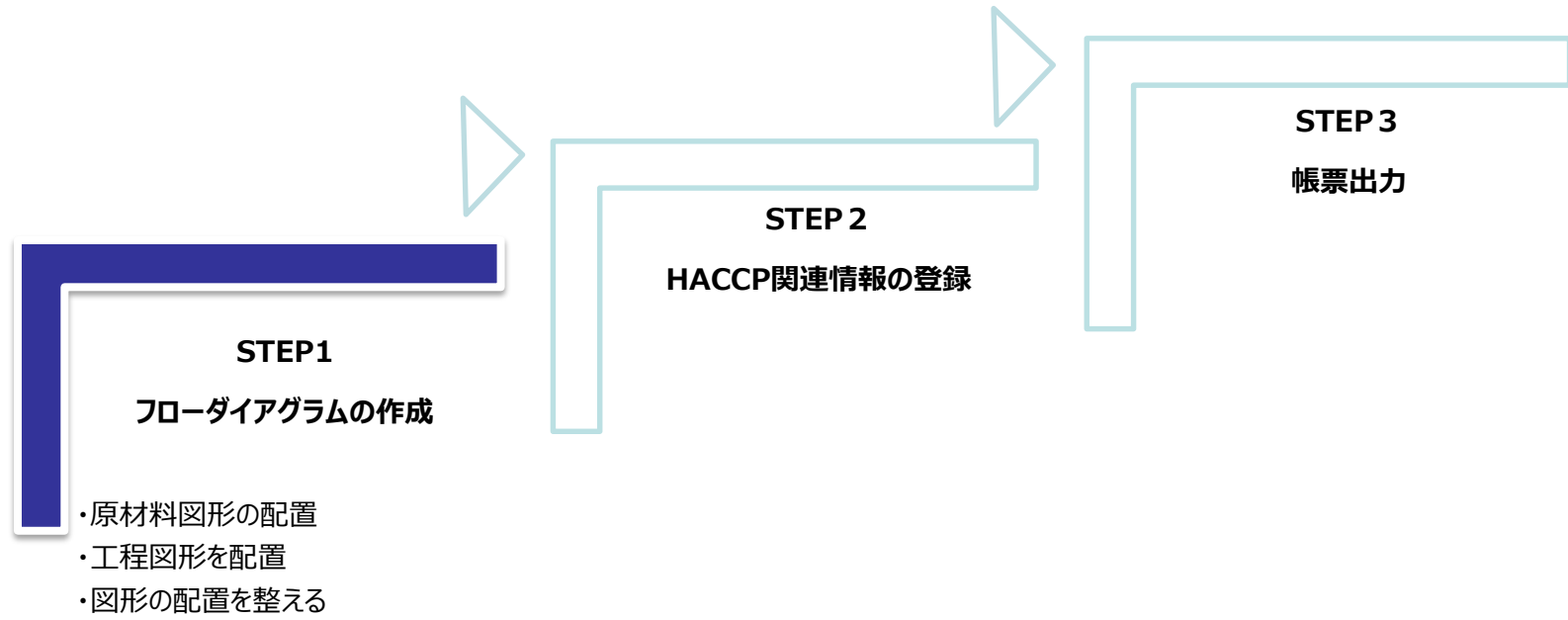
OK キャンセル

① 「製品情報」タブに切替えます。

② 登録する「項目名」を選択します。

③ 選択した項目の値を入力します。

# ■ HACCP文書作成の3つのステップ STEP1



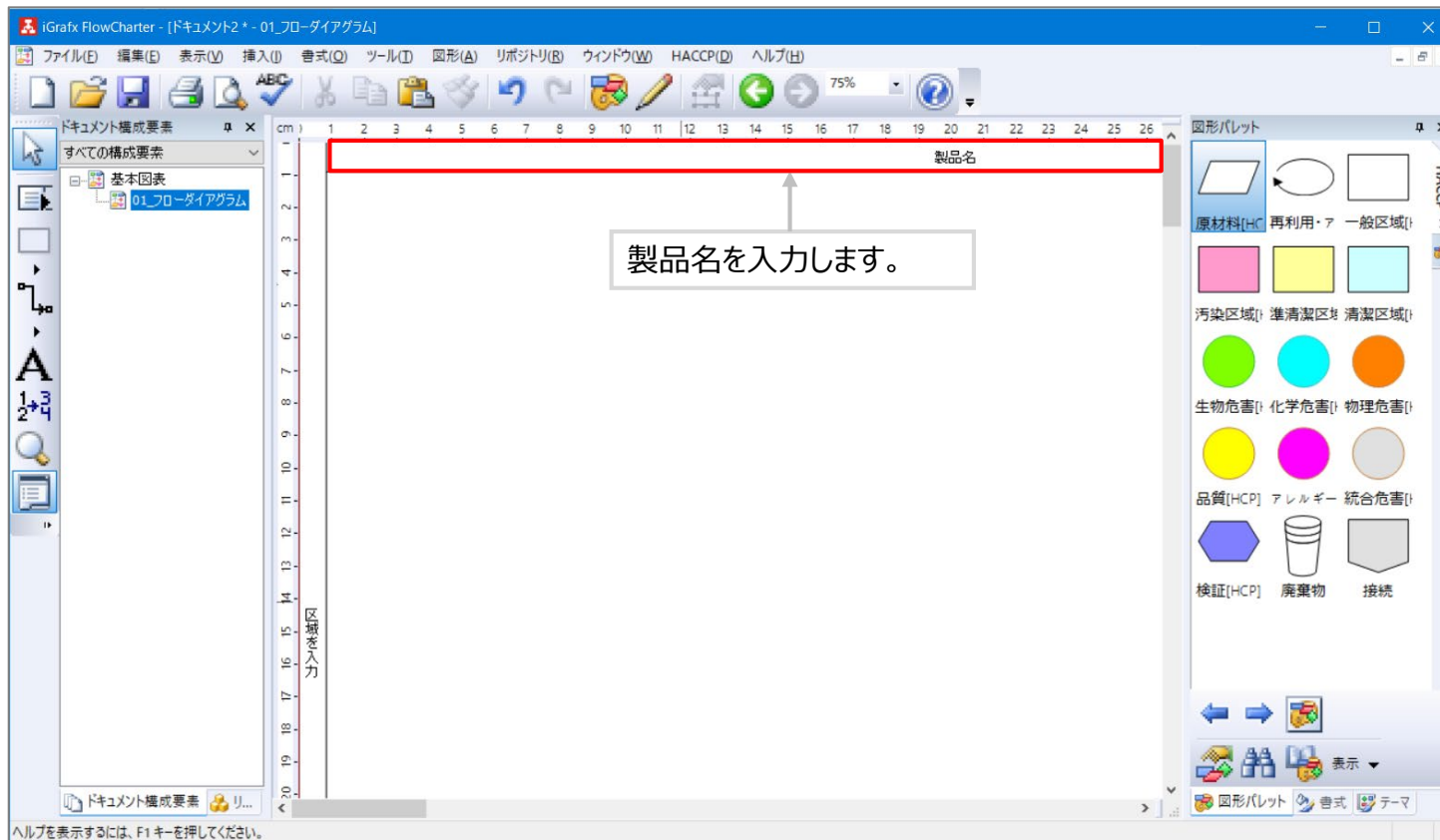
## ■ 8. 製品名の登録

ユーザーズガイド  
P20を  
ご参照ください。

iGrafx®

テンプレートファイルの「製品名」を選択し、フローダイアグラムの対象となる最終製品名を入力します。

※「製品名」はiGrafxの「Swimlane」の機能を利用しています。



◆ オートデモ <iGrafx FlowCharter> 2 フローチャートを作成する – 3 部門名称の変更 – ①部門名を変更する をご参照ください。

## ■ 9. 「原材料」図形を配置

ユーザーズガイド  
P18を  
ご参照ください。

iGrafx®

「原材料」図形を配置します。

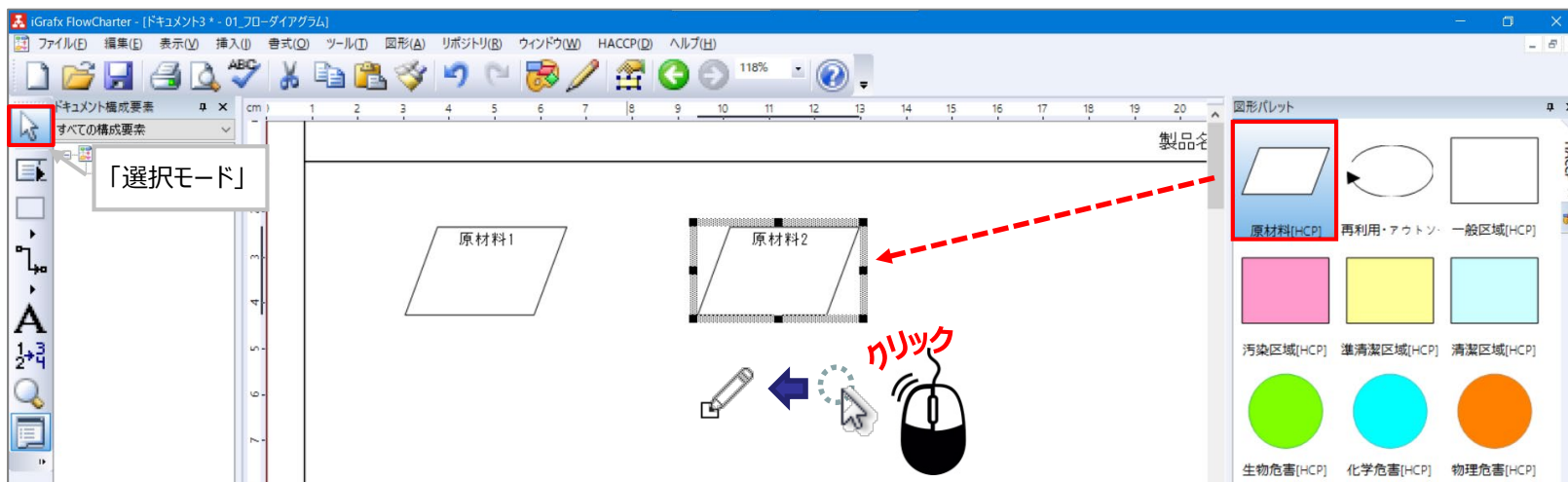
- ① 「図形パレット」の「原材料」図形を選択し、マウスポインタを移動します。
- ② 配置したい位置でクリックします。

続けて「原材料」図形を配置する場合は、図表上空白部分をクリックし、マウスポインタを




図形配置モード (鉛筆の形) に変更します。

その後、図形を配置したい位置でクリックを繰り返します。



- ③ 配置した「原材料」図形を選択し、原材料名を入力します。

※ 配置した図形を選択する際、図形配置モードになっている場合は、画面左にある白い矢印アイコン  を

クリックして  選択モード に変更します。

◆ オートデモ <iGrafx FlowCharter> 2 フローチャートを作成する - 8 図形の配置方法 - ① 基本の配置方法 をご参照ください。

# ■ 10. 「原材料」情報の入力

ユーザガイド  
P19、32を  
ご参照ください。

iGrafx®

配置した「原材料」図形をダブルクリックすると、「原材料」ダイアログボックスが表示されます。  
項目名を選択し、材料の詳細を入力します。



HACCP - 原材料

原材料  部門 ナチュラルウイナ

原材料 1  豚肉  碎書グループID  碎書

登録番号

8.5.1.2 原料、材料及び製品に接触する材料の特性

分類名	項目名	項目値
8.5.1.2 原料、材料及び製品に接触する材料...	生物、化学、物理的特性	豚肉
	添加物、加工助剤を含む成分...	無し
	由来	神奈川の養豚家グループ「木曜会」から(資料別添)
	原産地	
	製造方法	養豚家→神奈川食肉で屠畜、カット肉、トミンク)
	包装及び配送方法	プラスチック容器入り、自社冷蔵車でのおき取り
	保管条件及び Shelf Life	冷蔵保管、屠畜後4日以内を使用

① 入力項目を選択します。

② 選択した項目の値を入力します。

項目名  生物、化学、物理的特性

項目値

OK キャンセル

# 11. 図形の配置を整える

図形の整形は、基準図形に合わせて整形されます。  
整えたい図形を選択して「図形」メニューから「揃え」または「均等配置」を選択します。

## ■ 図形の複数選択

図形を複数選択する場合は、「Shift」キーを押しながら図形を選択します。

白いハンドルが表示される図形が基準図形です。

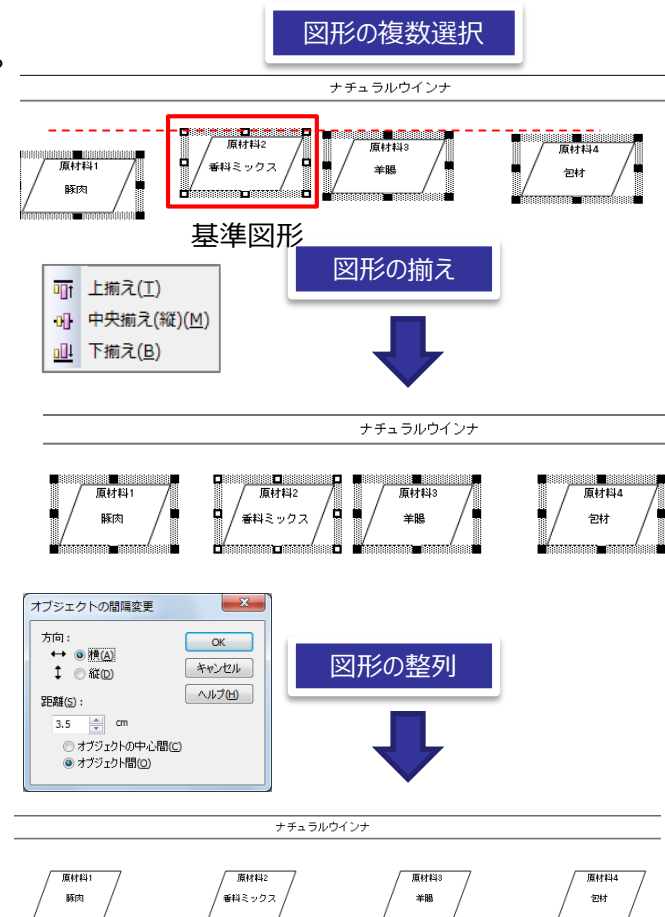
※最後に選択した図形に白いハンドルが表示され、基準図形となります。  
基準図形を変更する場合は、「Shift」キーを押しながら一度選択を解除して再選択します。

## ■ 図形の揃え

- ① 揃えたい図形を複数選択します。
- ② 「図形」メニューから「揃え」をクリックし、揃える方向を選択します。

## ■ 図形の整列

- ① 均等配置する図形を全て選択後、「図形」メニューから「均等配置」-「オブジェクトの間隔変更」を選択します。
- ② ダイアログボックスを開き、「方向」「距離」を指定して「OK」をクリックします。



## ■ 12. 「工程」図形を配置

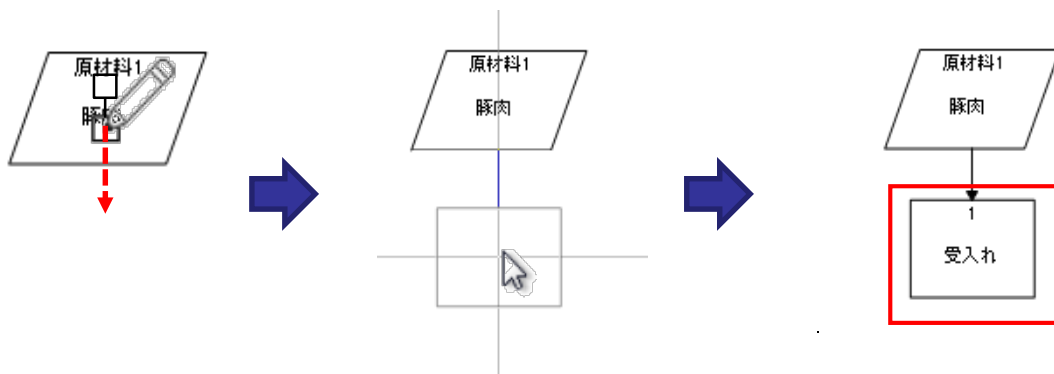
ユーザズガイド  
P19を  
ご参照ください。

iGrafx®

「工程」「再利用・アウトソース」「廃棄物」「接続」など工程に関わる図形を配置します。

### ■ 接続線で結ばれた図形を配置する方法

- ① 「図形パレット」の「HACCP」パレット内で配置したい図形を選択します。
- ② 接続線の始点となる図形にマウスポインタを重ね図形の配置場所に向けドラッグします。マウスポインタの形は、図形の輪郭と移動ポインタが表示されます。



- ③ 続けて配置する場合は、空白部分をクリックし、マウスポインタを図形配置モードに変え② – ③を繰り返します。
- ④ 必要に応じて、図形の配置を整えます。

◆ オートデモ < [iGrafx FlowCharter](#) > 2 フローチャートを作成する – 8 図形の配置方法 をご参照ください。

# ■ 13. 「工程」情報の入力

ユーザズガイド  
P20、34を  
ご参照ください。

工程図形をダブルクリックし、「工程」ダイアログボックスを開き、情報を登録します。

※下記の図形のダイアログボックスの内容は共通です。



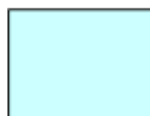
一般区域 [HCP]



汚染区域 [HCP]



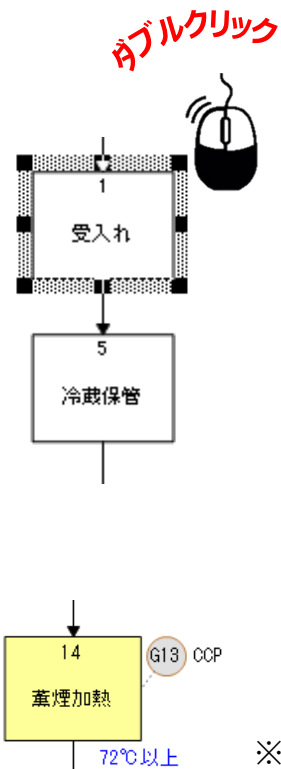
準清潔区域 [HCP]



清潔区域 [HCP]



再利用・アウトソース



分類名	項目名	項目値
工程管理	担当者	管理部
	管理項目	鮮度 異物
	管理基準	目視表面温度計
	測定方法	
	要求事項	
	記録	検出記録
	検証	落下塵検査

①工程の詳細を入力します。

②入力項目を選択します。

③選択した項目の値を入力します。

※項目名の「管理基準」に入力した内容は、フローダイアグラムの工程図形右下に自動表示されます。

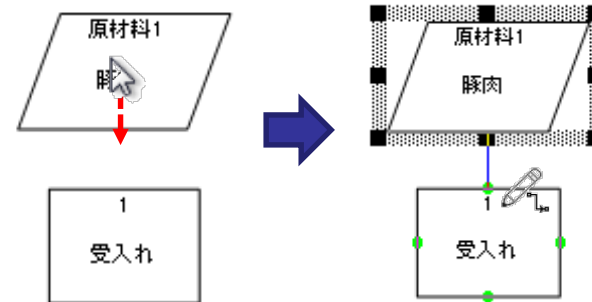
# ■ 14. 接続線を引く

ユーザズガイド  
P19を  
ご参照ください。

図形を配置した後で接続線を引く場合、以下の手順で線を引くことができます。

## ■ 図形と図形を接続線で結ぶ方法

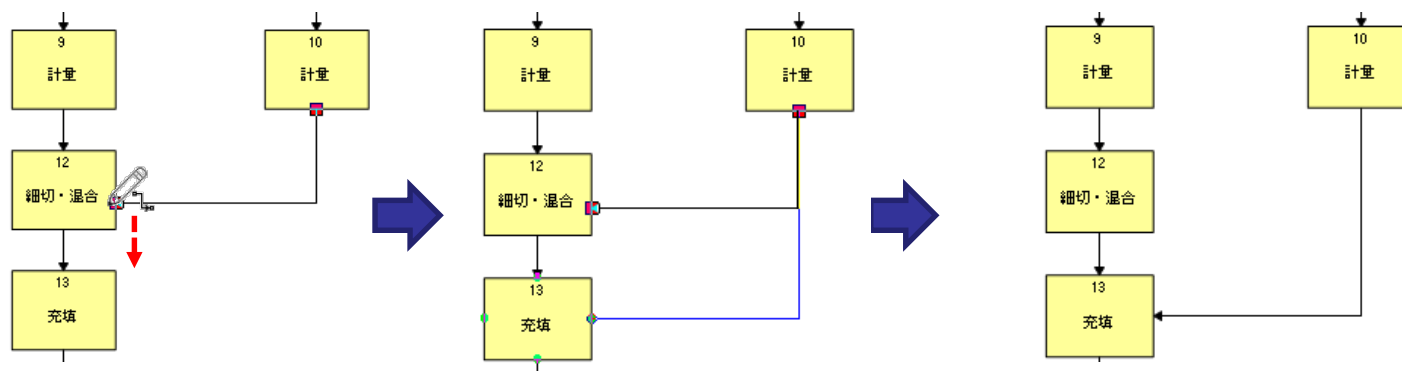
接続線の始点となる図形の上にマウスポインタを合わせ、線の終点となる図形に向かってドラッグします。



## ■ 図形の間を接続している線を編集します。

図形間の接続線を移動することができます。

- ① 接続線を選択します。
- ② 線両端の赤い点をドラッグしながら、新しい接続先に移動します。



◆ オートデモ < iGrafx FlowCharter > 2 フローチャートを作成する - 17 図形の接続 - ①図形と図形を接続する をご参照ください。

# ■ 15. ゾーニングの編集

HACCPフローテンプレートには、「汚染」「準汚染」「清潔」ゾーンが準備されています。  
製造工程を複数のゾーンで管理することをゾーニングといいます。

※「ゾーニング」は、iGrafxの「フェーズ」機能を利用しています。

## ◆ ゾーン名の変更

ゾーン名の領域（左枠）を選択し、再度クリックしてテキストを入力します。

## ◆ ゾーンの削除

ゾーンの領域（左枠）を選択し、「Delete」キーをクリックして削除します。

## ◆ ゾーン追加

「挿入」メニューから「フェーズ」を選択し、フローダイアグラムに表示したグレーの線を追加したい場所でクリックします。

「ゾーン」領域を調整する場合は、黒いハンドルをドラッグして移動します。

ゾーン名を入力します。

追加したい場所でクリックします。

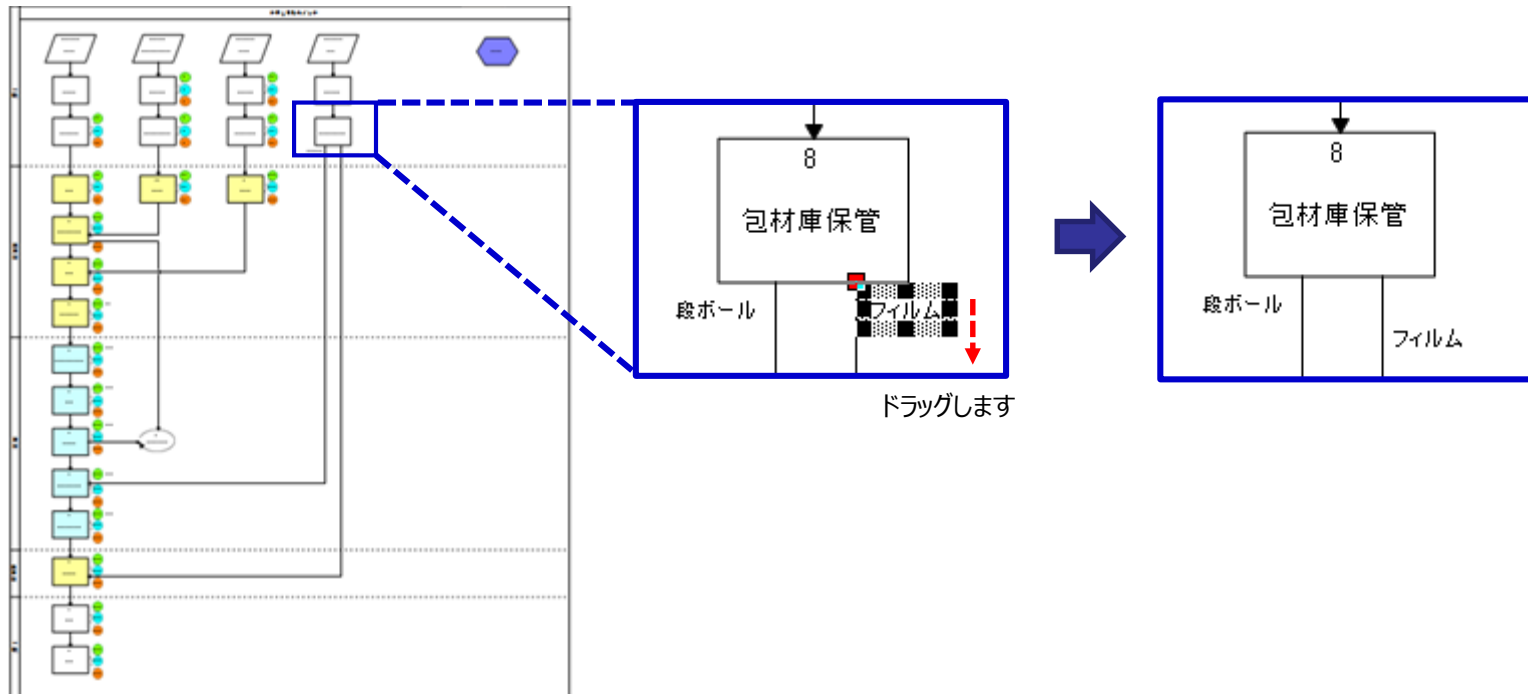
ドラッグします

## ■ 16. 接続線にラベルを付ける

条件によって工程が分かれる場合、接続線にラベルを付けて表現することができます。

### ◆ 接続線にラベルを追加する方法

- ① 接続線を選択してテキストを入力します。
- ② ラベルを選択して、表示位置に移動します。  
※ラベルを選択すると接続先に赤いハンドルが表示されます。

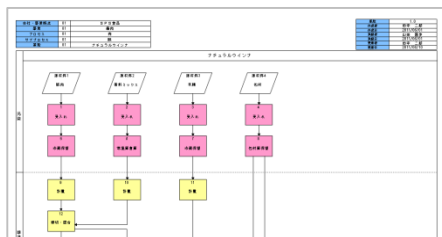


# ■ HACCP文書作成の3つのステップ STEP2

## STEP1

フローダイアグラムの作成

- 原材料図形の配置
- 工程図形を配置
- 図形の配置を整える



## STEP2

HACCP関連情報の登録

会社・事業拠点	品名	原料	サブプロセス	業種
01	G P S 青皮			
01	豚肉			
01	豚			
01	豚			
01	豚			
01	豚			

品名	検査グループID	検査項目	検査頻度
豚肉	20170701	細菌	1回/1日
豚	20170701	細菌	1回/1日
豚	20170701	細菌	1回/1日
豚	20170701	細菌	1回/1日
豚	20170701	細菌	1回/1日

分類名	項目名	項目値
8.5.2.3 ハザード分析 8.5.2.4 管理手段の選択及び分	8.5.15.0/8.5.2.4 管理手段	温度検査
	8.5.2.3 許容水準の検算	8.5.2.3 許容水準の検算
	8.5.2.3 許容水準	許容水準-5°C
	8.5.2.3 ハザード分析(発生頻度)	4
	8.5.2.3 ハザード分析(監視頻度)	2
	8.5.2.3 ハザード分析(許容値)	0
	8.5.2.3 ハザード分析(名前の)	

STEP3  
帳票出力

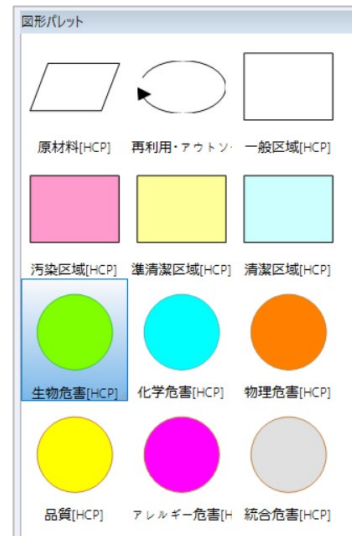
# ■ 17. 「危害」図形を配置する

ユーザーズガイド  
P20を  
ご参照ください。

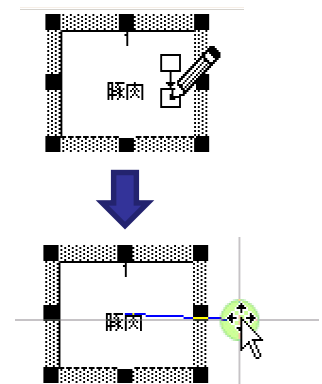
iGrafx®

「危害」図形 は以下の手順で配置します。

- ① 「図形パレット」で「危害」図形を選択します。



- ② 「危害」図形を紐づける「工程」図形の内側にマウスポインタを重ね危害図形の配置場所に向けドラッグします。  
マウスポインタの形は、配置/接続ポイントに変わります。  
※自動に危害ナンバーが採番されます。
- ③ 連続して「危害」図形を配置する場合は、空白部分でクリックしマウスポインタを図形配置モードに変え②-③を繰り返します。



◆ オートデモ < [iGrafx FlowCharter](#) > 2 フローチャートを作成する - 10 グラフィックの配置方法 をご参照ください。

# ■ 18. 「危害」情報の入力 -1

ユーザーズガイド  
P21を  
ご参照ください。

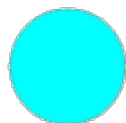
iGrafx®

危害図形をダブルクリックし「危害」ダイアログボックスを開き、危害の情報を入力します。

※下記の図形のダイアログボックスの内容は共通です。



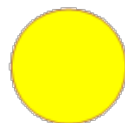
生物危害 [HCP]



化学危害 [HCP]



物理危害 [HCP]



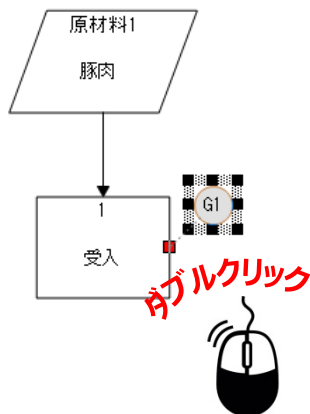
品質 [HCP]



統合危害 [HCP]



アレルギー-危害 [HCP]



HACCP - 生物危害

工程名 受入

B 1

許書グループID

登録番号

許書

8.5.2.1 ハザードの特定

品質入荷時温度

拡大

8.5.2.3 ハザード評価 8.5.2.4 管理手段の選択及び分類 8.5.4.2 許容限界及び処置基準の決定 8.5.4.3 モニタリングシステム 8.5.4.4 許容限界及び処置基準

分類名	項目名	項目値
8.5.2.3 ハザード評価 8.5.2.4 管理手段の選...	8.5.1.5.3/8.5.2.4 管理手段	温度検査
	8.5.2.2.3 許容水準の有無	
	8.5.2.2.3 許容水準	鮮度異物0-5℃
	8.5.2.3 ハザード評価(発生頻度)	4
	8.5.2.3 ハザード評価(重篤度)	2
	8.5.2.3 ハザード評価(評価点)	8
	8.5.2.3 ハザード評価(その他)	

分類名

8.5.2.3 ハザード評価 8.5.2.4 管理手段の選択及び分類

項目名

8.5.1.5.3/8.5.2.4 管理手段

項目値

温度検査

拡大

OK キャンセル

①ハザードの詳細を入力します。

②タブを選択します。

③入力項目を選択します。

④選択した項目の値を入力します。

# ■ 18. 「危害」情報の入力 -2

管理手段を「CCP」または「OPRP」とした場合は、「許容限界及び処置基準の決定」「モニタリングシステム」「許容限界逸脱時の対応」の情報も併せて登録します。

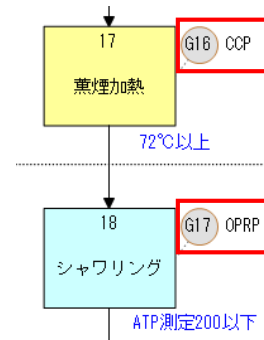
分類名	項目名	項目値
8.5.2.3 ハザード評価	8.5.2.3 ハザード評価(重篤度)	5
8.5.2.3 ハザード評価	8.5.2.3 ハザード評価(評価点)	25
8.5.2.3 ハザード評価	8.5.2.3 ハザード評価(その他)	
8.5.2.4.1 管理手段の選択	8.5.2.4.1 管理手段の選択	a)安定してできるb)重大な事故につながるb-1)効果は十分である...
8.5.2.4.2 管理手段の可能性評価	8.5.2.4.2 管理手段の可能性評価	b)許容限界または処置基準の逸脱を検知できる
8.5.2.4 管理手段の選択と分類	8.5.2.4 管理手段の選択と分類	CCP

項目値  
 CCP  
 OPRP  
 PRP



項目名	項目値
a)測定、観察	加熱後の中心温度投入重量確認中心温度計で最下段測定
b)方法または機器	スモーカー温度計
c)機器と方法の校正	温度計校正
d)頻度	全ロット
e)結果	
f)責任と権限	調理部長
g)結果の評価に関する責任と権限	

項目値  
 加熱後の中心温度投入重量確認中心温度計で最下段測定



管理手段を「OPRP」または「CCP」とした場合、「危害」図形の右横に表示されます。

## ■ 19. 「危害」図形の整列

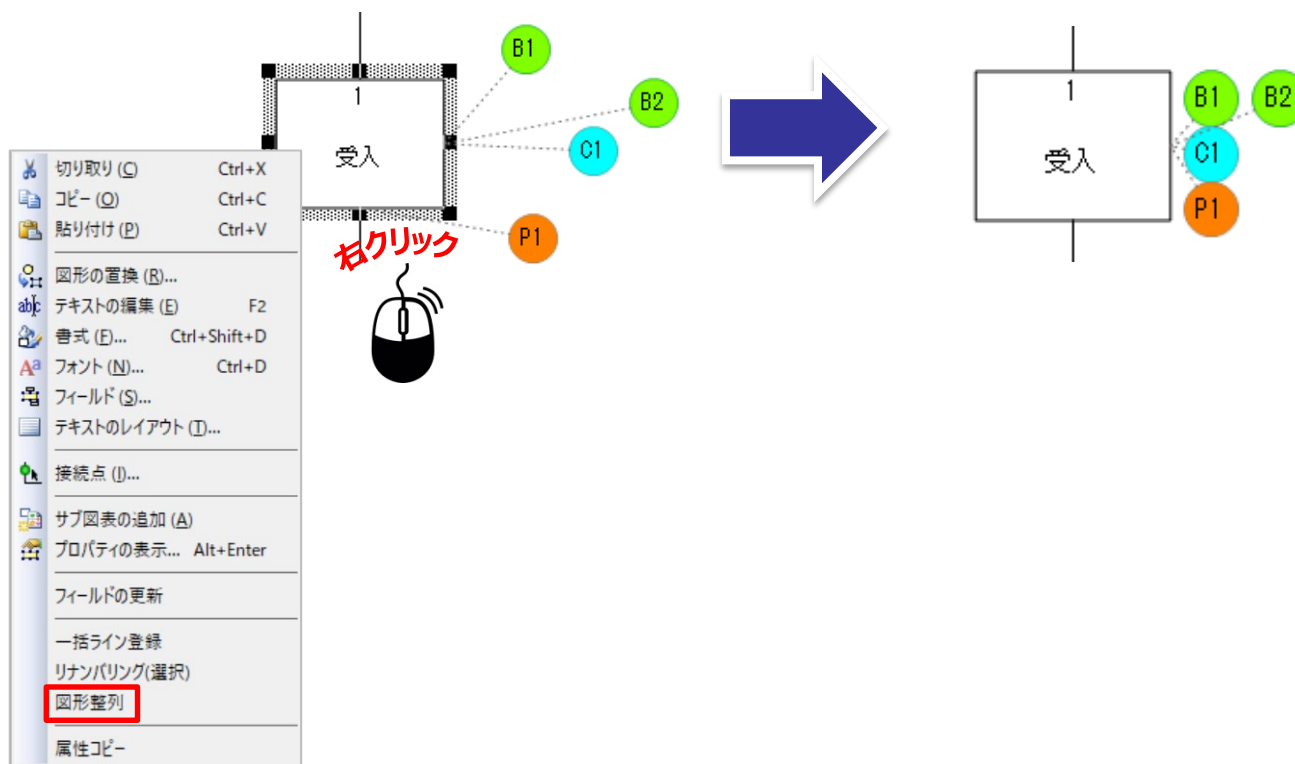
ユーザーズガイド  
P23を  
ご参照ください。

iGrafx®

工程図形に紐づけられた「危害」図形を再配置し、整列させることができます。

### ■ 「危害」図形を整列させる方法

- ① 対象の「工程」図形の上で右クリックします。
- ② 「図形整列」を選択します。

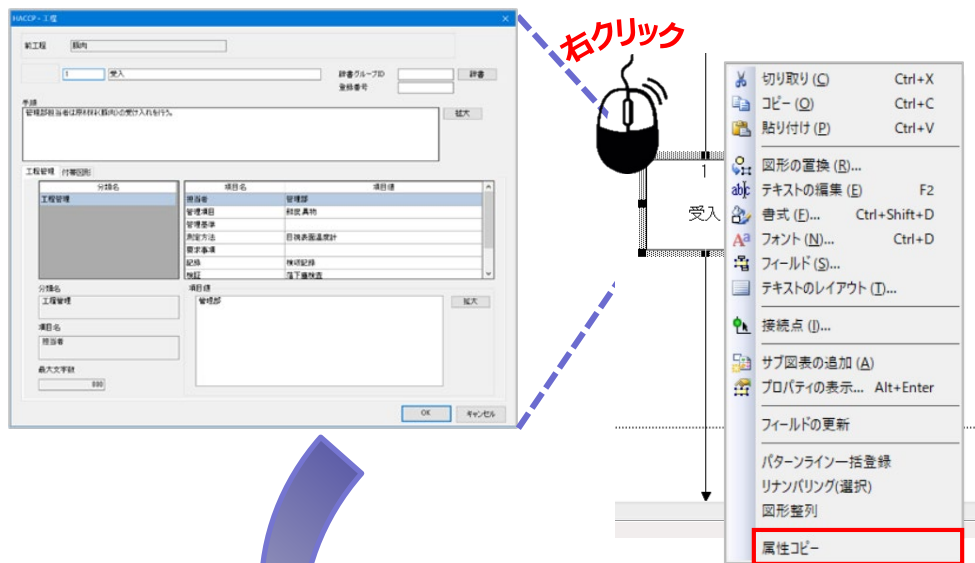


## ■ 20. 図形の属性コピー

ユーザズガイド  
P22-23を  
ご参照ください。

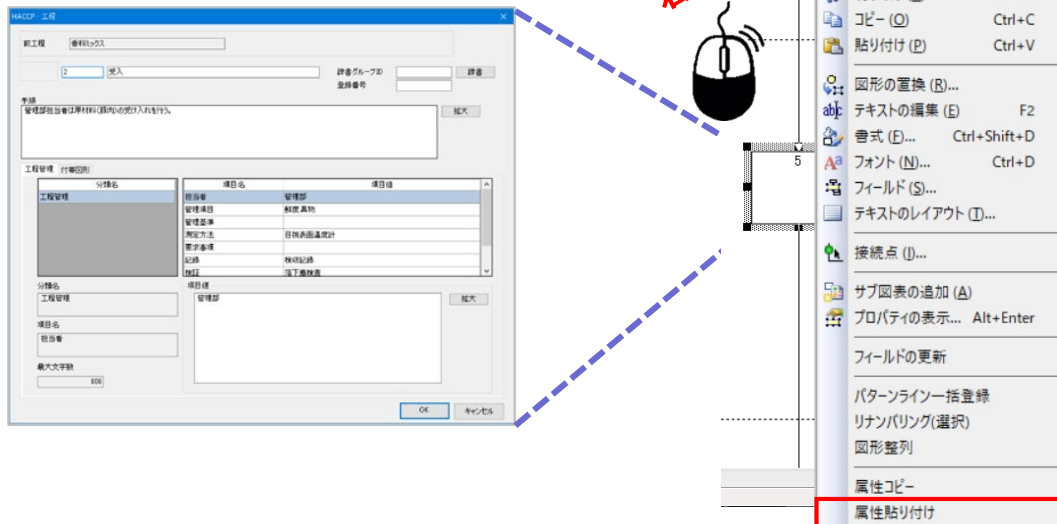
iGrafx®

工程図形及び危害図形の属性内容をコピーし、同種類の図形に属性内容を貼り付けることができます。



### ◆ 属性をコピーする方法

- ① 属性内容をコピーする対象の図形の上で右クリックします。
- ② 「属性コピー」を選択します。
- ③ 属性内容を貼り付ける図形の上で右クリックします。
- ④ 「属性貼り付け」を選択します。



図形の属性内容が  
コピーされます。

# ■ 21. リナンバリング -1

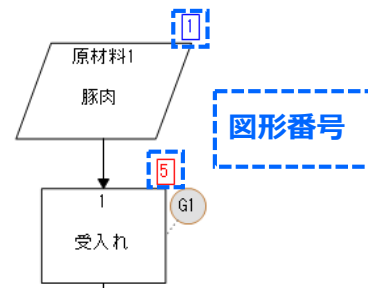
ユーザーズガイド  
P39-40を  
ご参照ください。

iGrafx®

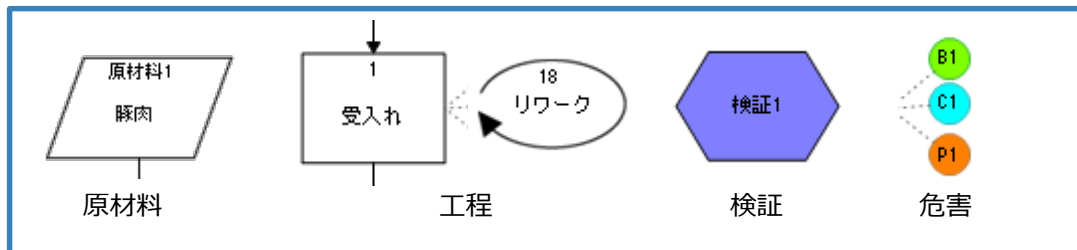
「リナンバリング」機能を使って、図形に表示されている番号を振り直すことができます。

## ■ リナンバリングのルール

- ・「原材料」「工程」図形は、図形が配置した時に付けられる図形番号を基準にして番号が付けられます。  
次頁の手順に沿って図形番号を付け直してください。
- ・「危害」図形は、紐づいている「工程」図形のナンバーを基準に、リナンバリングされます。



## ■ 「リナンバリング」の対象となる図形



## ■ 「リナンバリング」ダイアログボックスの表示方法

- ① 「HACCP」メニューより「リナンバリング」を選択します。
- ② リナンバリングを行う対象の図形名を選択し、必要であれば開始番号を指定し、「OK」ボタンをクリックします。



# ■ 21. リナンバリング -2

「原材料」と「工程」の番号を変更する場合のみ必要です。  
ナンバーは、図形番号順に付与されているため、リナンバリングする場合は事前に図形番号を付け直す必要があります。

## ■ リナンバリングの準備

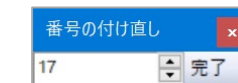
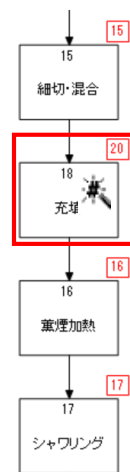
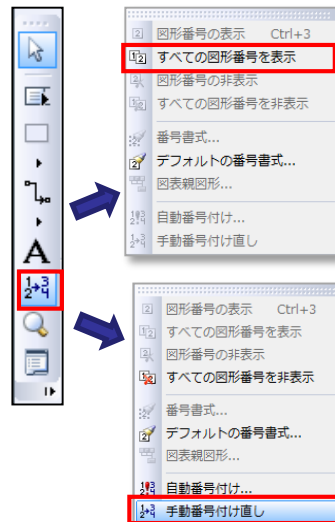
- ① 図形番号を表示します。

※通常は、図表上に表示されません。

「ツールボックス」ツールバー「図形番号」アイコン  
「すべての図形番号を表示」をクリックします。

- ② 「ツールボックス」ツールバー「手動番号付け直し」を  
クリックします。

「番号付け直し」のダイアログボックスが表示します。



図形番号を変更した図形



図形番号が自動的に繰り上がった図形

- ③ 「番号付け直し」ダイアログボックスに付番  
したい番号を入力します。

- ④ 番号を付与する図形をクリックします。

例) 番号「16」を付けたい場合、ダイアログボックスに  
「16」と入力し、付番したい図形をクリックします。

※「番号付け直し」ダイアログボックスは自動的に番号が繰り上がります。

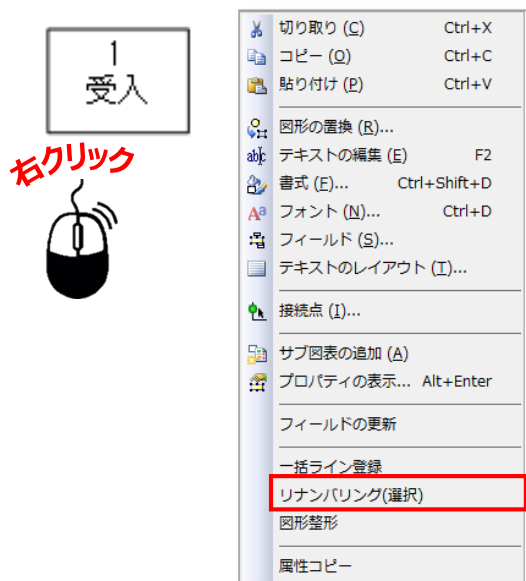
- ⑤ 「HACCP」メニューの「リナンバリング」を選択し、対象の図形名を選択し「OK」をクリックします。

## ■ 22. リナンバリング (選択) -1

ユーザズガイド  
P43-45を  
ご参照ください。

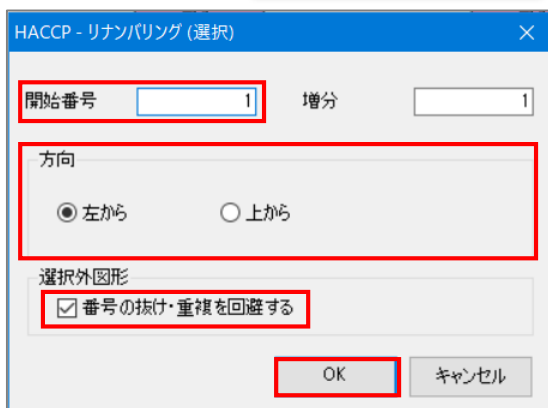
iGrafx®

対象の工程図形を選択し、右方向や下方向にリナンバリングすることもできます。  
※同時に選択外図形の番号の抜けや重複を回避し、自動に番号を割り当てることができます。



### ■ リナンバリング (右クリック操作)

- ① リナンバリングする図形を全て選択し、図形の上で右クリックします。
- ② 「リナンバリング (選択)」をクリックします。
- ③ 「リナンバリング (選択)」のダイアログボックスが表示されるので、必要項目を入力します。
  - ・「開始番号」を入力します。
  - ・リナンバリングする「方向」を選択します。
  - ・「選択外図形」のチェックボックスを確認します。
- ④ 「OK」をクリックします。



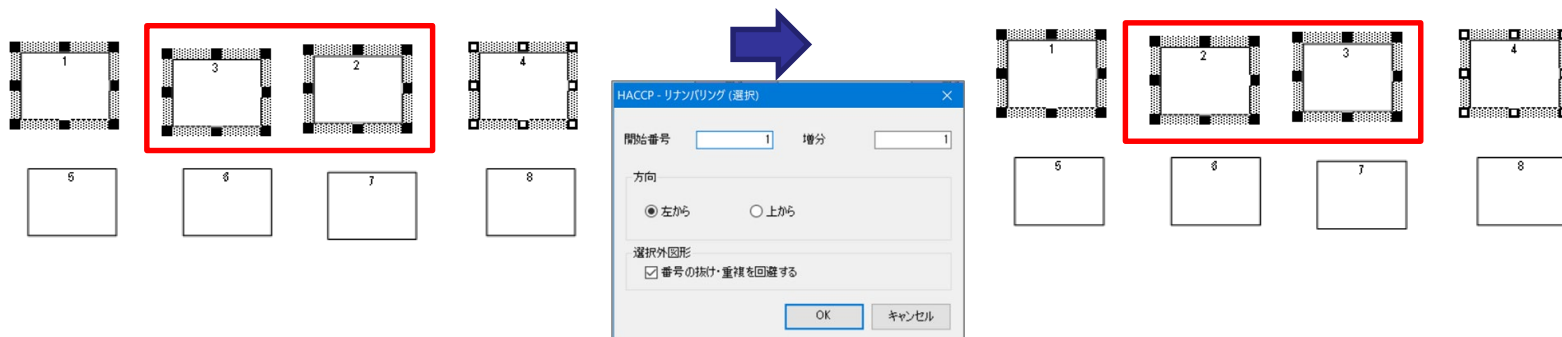
## ■ 22. リナンバリング (選択) -2

ユーザーズガイド  
P43-45を  
ご参照ください。

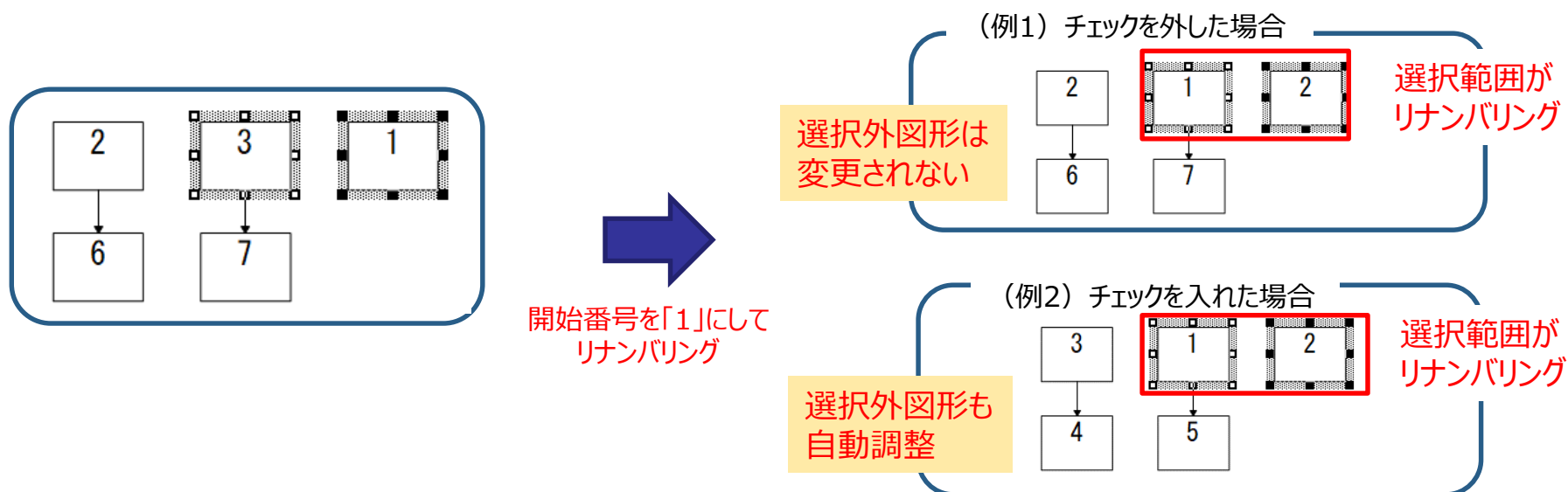
iGrafx®

### ■ 図形の選択方法

例えば「横」にリナンバリングする場合は、横方向1列を複数選択し、開始番号は「1」、方向は「横」を選択し、リナンバリングを実行すると意図した順番に並び替えられます。



**「選択外図形」の「番号の抜け・重複を回避する」**にチェックを入れると、選択した図形のリナンバリング後に、選択外図形の番号の抜けや重複を回避して、自動的に番号が割り当てられます。



## ■ 23. 「検証」図形の配置と情報入力

ユーザーズガイド  
P22またはP37を  
ご参照ください。

iGrafx®

「検証」図形は余白部分の任意の場所に配置します。  
配置した検証図形をダブルクリックし「検証」ダイアログボックスを開き、検証プランの情報を登録します。

ダブルクリック

①分類名を選択します。

分類名	項目名	項目値
a)PRPの実地確認	方法	日連管理記録・月年管理記録・業務レポートを「記録のマネジメント...
b)HACCPプランの効果確認	頻度	毎月
c)危害レベルが許容水準内の確認	責任	トップマネジメント
d)ハザード分析の更新	記録	記録・検証シート
e)その他の組織が決定した手順の効果確認 ※クレーム・回収		

②項目名を選択します。

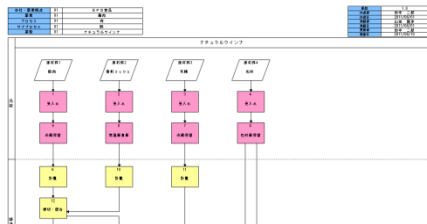
③選択した項目の値を入力します。

# ■ HACCP文書作成の3つのステップ STEP 3

## STEP 1

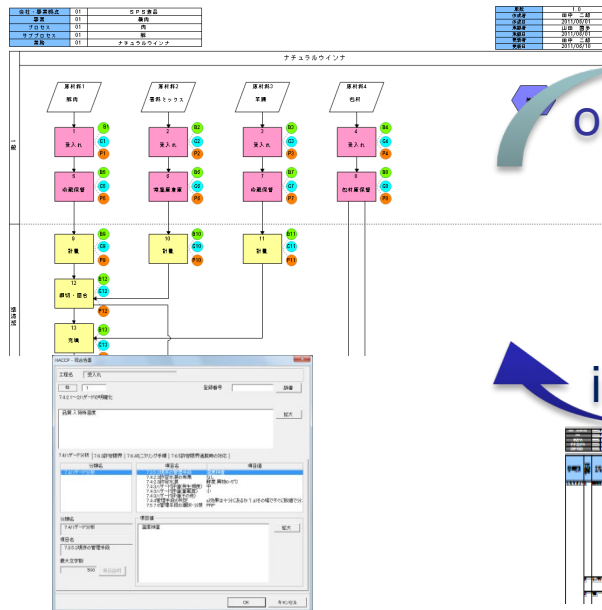
### フローダイアグラムの作成

- 原材料図形の配置
- 工程図形を配置
- 図形の配置を整える



## STEP 2

### HACCP関連情報の登録



## STEP 3

### 帳票出力

output

input

## ■ 24. 整合性チェック

ユーザーズガイド  
P46を  
ご参照ください。

iGrafx®

開いているすべての文書を対象に整合性をチェックし、作図上矛盾のある箇所を特定します。

「HACCP」メニューから「整合性チェック」を選択します。

エラーが検出された場合は、内容が一覧表示されます。

エラー行を選択すると対象の図形が選択されますので、エラー内容に応じて修正します。

図表ID	図形種別	ナンバー	チェック内容
01-01-01-01-10			図表IDが重複しています。
01-01-01-01-10			図表IDが重複しています。
01-01-01-01-10	生物危害[HCP]	B1	工程図形に紐付けされていません。
01-01-01-01-10	生物危害[HCP]	B1	工程図形に紐付けされていません。
01-01-01-01-10	汚染区域[HCP]	2	工程Noが重複しています。
01-01-01-01-10	汚染区域[HCP]	2	工程Noが重複しています。
01-01-01-01-10	準清潔区域[HCP]	12	工程Noが重複しています。
01-01-01-01-10	準清潔区域[HCP]	12	工程Noが重複しています。
01-01-01-01-10	生物危害[HCP]	B1	危害Noが重複しています。
01-01-01-01-10	生物危害[HCP]	B1	危害Noが重複しています。
01-01-01-01-10	汚染区域[HCP]	2	工程Noが重複しています。
01-01-01-01-10	汚染区域[HCP]	2	工程Noが重複しています。

検出される項目は以下の通りです。

- 開かれている文書の「図表識別」が重複している場合 <重要>
- 各図形のナンバーが重複している場合
- 危害図形が「工程」図形に紐付けられていない場合
- 紐づきのない「危害」図形が存在する場合

## ■ 25. 帳票出力 -1

ユーザーズガイド  
P47-49を  
ご参照ください。

iGrafix®

「HACCP」メニューから「帳票出力」を選択し、ダイアログボックスを開きます。  
現在開いている文書の一覧から帳票に出力する対象文書にチェックを入れ、「出力フォーマット」より対象の帳票名を選択して「OK」ボタンをクリックします。

出力時に自動保存されますので、「出力ファイル」の「参照」ボタンより保存先を指定します。

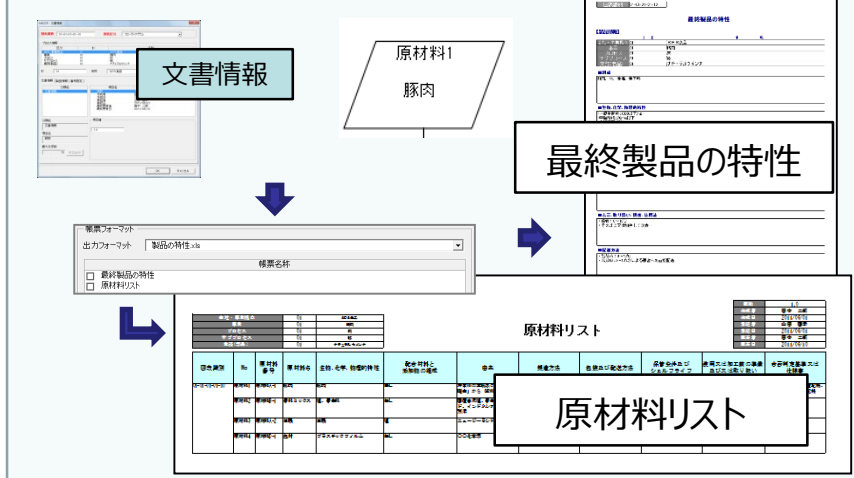
The screenshot shows the 'HACCP - 帳票出力' dialog box. It has several sections: '図表区分' (Chart Category) with a dropdown set to 'フローダイアグラム' and buttons for '全選択' (All Select) and '全解除' (All Deselect); a table of documents with columns '図表ID' (Chart ID) and '名称' (Name), where the first row is checked; '帳票フォーマット' (Invoice Format) with a dropdown set to '製品の特性.xls'; a table of invoice names with columns '帳票名称' (Invoice Name) and checkboxes, where '最終製品の特性' and '原材料リスト' are checked; 'パターン名' (Pattern Name) dropdown; '出力条件' (Output Conditions) with '図形種別' (Diagram Type) dropdown and '項目名' (Item Name) and '項目値' (Item Value) dropdowns; '出力ファイル' (Output File) with a text field containing a file path and a '参照' (Reference) button; and '自動保存しない' (Do not auto-save) checkbox. At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. Callouts on the right point to these elements with the following text:

- 複数の文書がある場合、このボタンをクリックすると、すべての文書が帳票出力対象になります。
- 帳票出力する対象の文書をチェックします。
- 出力ファイルを選択します。
- 出力シートを選択します。
- 出力先を指定します。

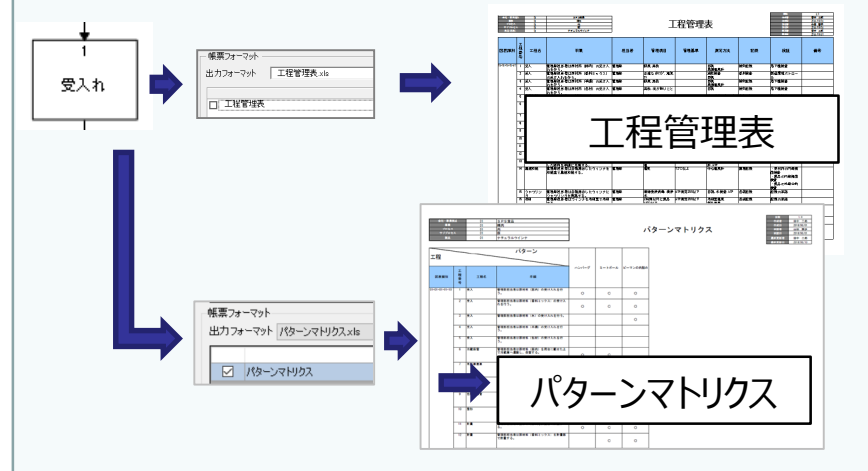
# 25. 帳票出力 -2

帳票出力を実行すると指定した帳票が出力します。

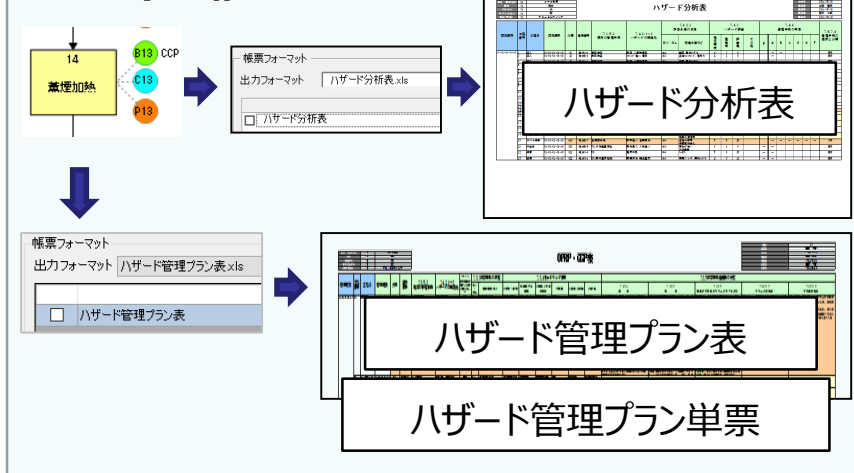
## 製品・原材料の情報管理



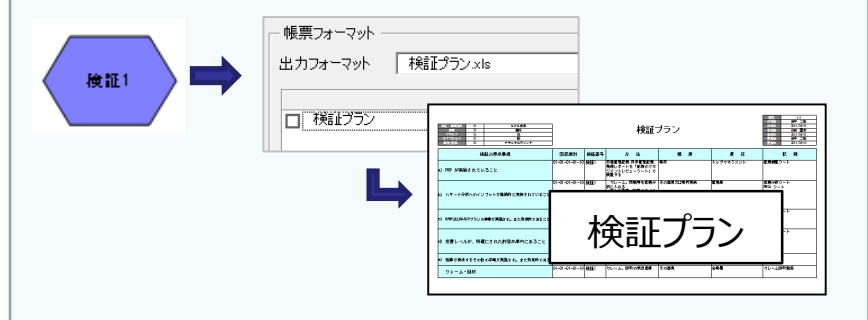
## フローダイアグラムの工程管理



## ハザードの情報管理



## 検証の管理

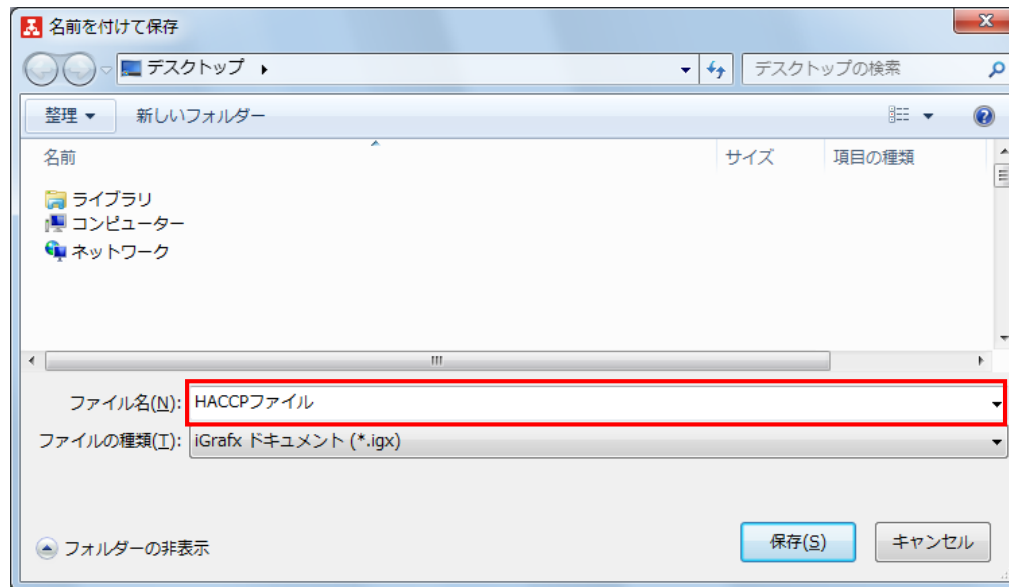


※出力されたExcelシートの内容を変更し、その内容を業務フローに取り込んで更新することもできます。  
詳細は「HACCPクリエイターユーザーズガイド」の「一括取込」(P57-60)をご参照ください。

## ■ 26. ファイルの保存方法

### ■ iGrafX形式の保存

「ファイル」メニュー-「名前を付けて保存」をクリックします。



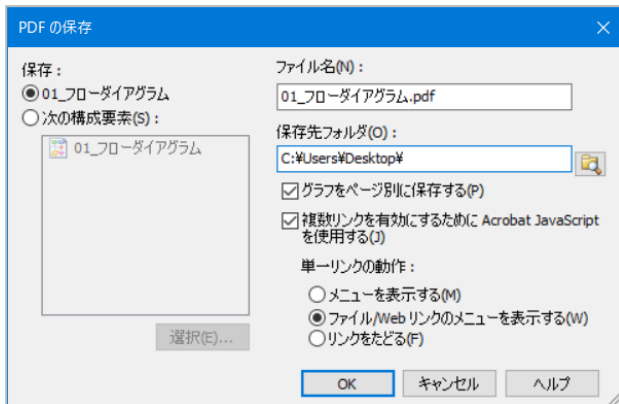
ファイル名を入力します。

# ■ 27. PDFの保存方法

PDF形式で保存すると、「iGrafx FlowCharter」をインストールしていないパソコンで閲覧することができます。PDFで出力した場合、図形にマウスポインタを重ねると図形に登録した情報が表示されます。

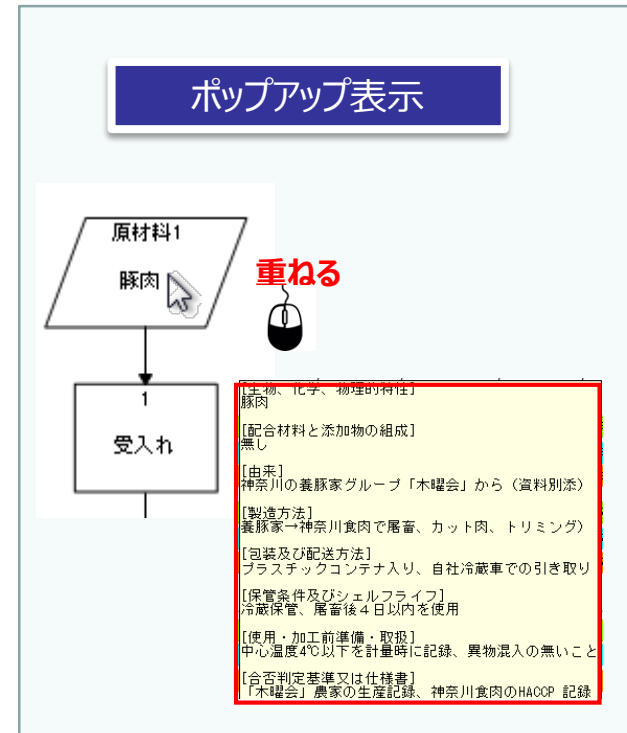
## ■ PDF形式の保存

- ① 「ファイル」メニューをクリックします。
- ② 「他のファイル形式に出力」をクリックします。
- ③ 「PDFドキュメント」をクリックします。
- ④ 「PDFの保存」ダイアログボックスが表示されます。
- ⑤ 「OK」ボタンをクリックし、PDFに出力します。



← ファイル名を確認します。

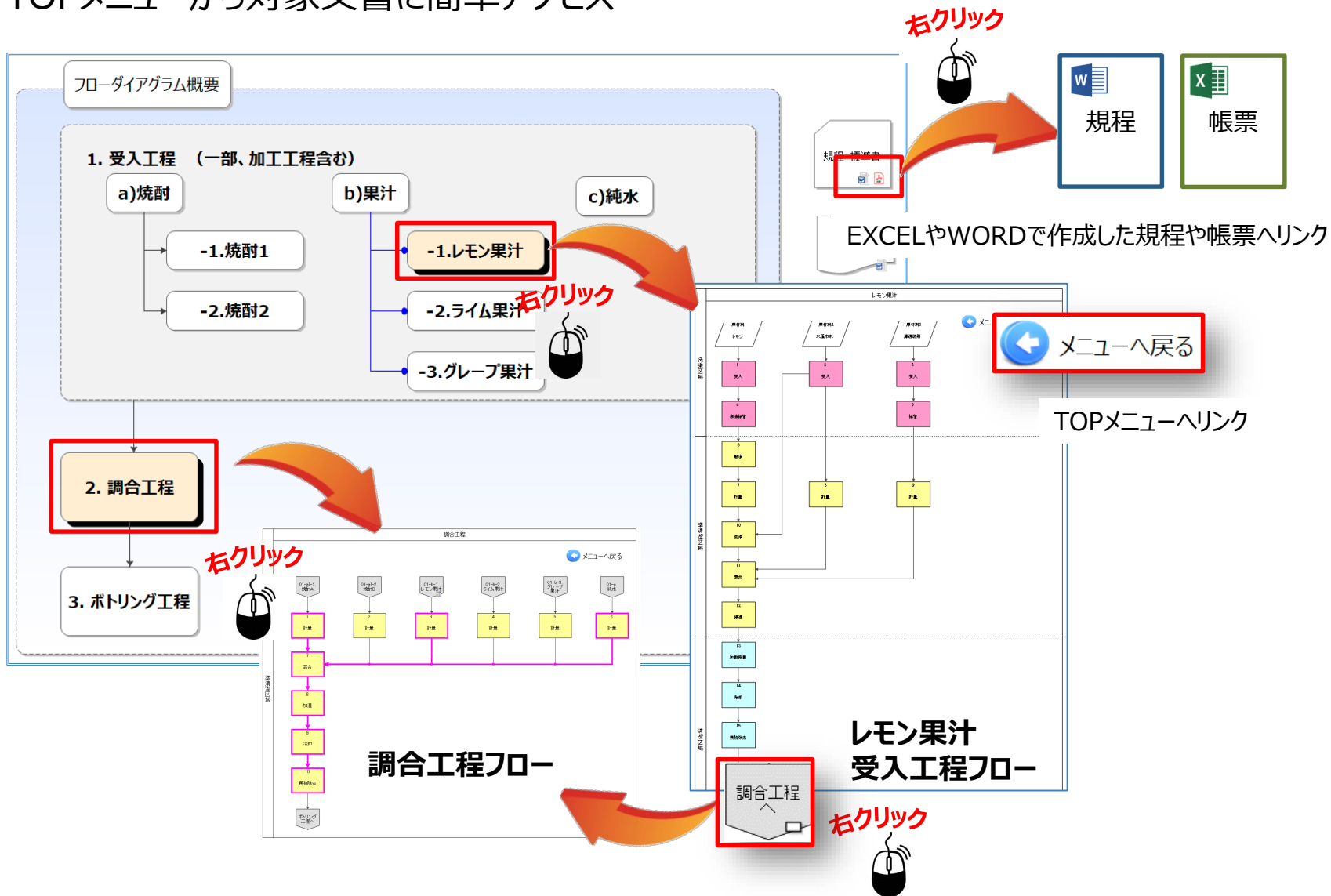
← 保存先を指定します。



◆ オートデモ < iGrafx FlowCharter > 6 フローチャートを公開する - 37 他のファイル形式に保存 - ④PDF形式 をご参照ください。

# ■ iGrafXでの運用イメージ① <リンク機能>

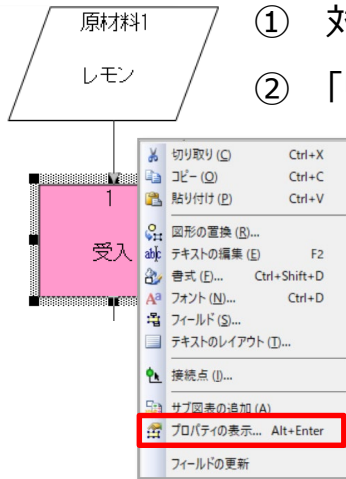
TOPメニューから対象文書に簡単アクセス



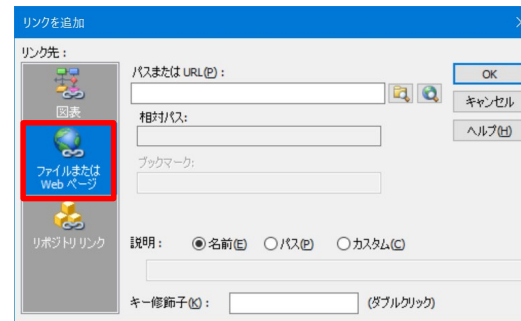
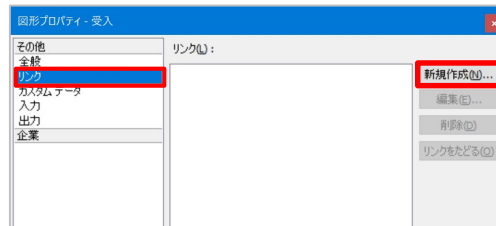
# ■ 28. リンク機能

図形にリンク設定し、リンク先の文書を直接参照することができます。

## ■「リンク」の設定



- ① 対象の図形を右クリックし、「プロパティの表示」を選択します。
- ② 「リンク」カテゴリを選択し、「新規作成」ボタンをクリックします。

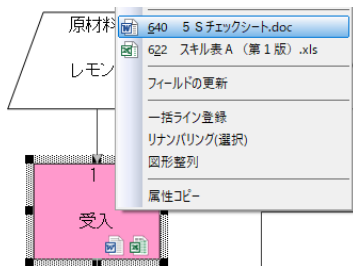


- ③リンク先の「ファイルまたはWebページ」を選択し、フォルダのアイコンまたはURLアイコンからドキュメントまたはURLを指定します。

※1つの図形に複数のリンクを設定することができます。

※ 同一ファイル内の別図表を指定する場合は「図表」を選択して、該当する図表を指定します。

## ■「リンク」ファイルの開き方



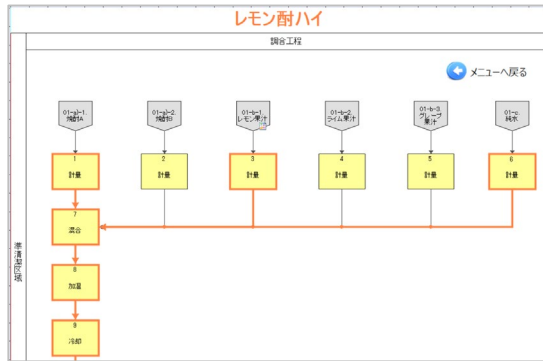
リンクファイルを開く場合は、右クリックメニューより対象のファイルを選択します。

# ■ iGrafXでの運用イメージ② <パターン強調表示>

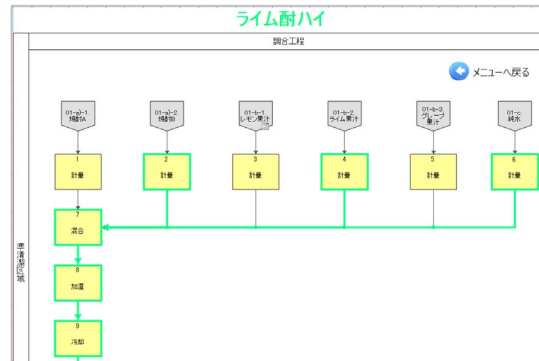
類似する工程を、1つのフローダイアグラムで管理することができます。

例) 工程は同じだが、投入する原料が違う調合工程フロー

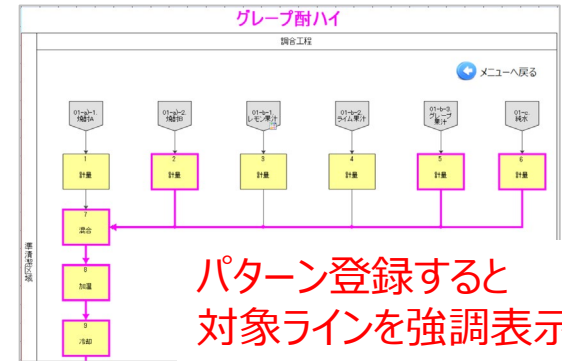
パターンA <レモン耐ハイ>



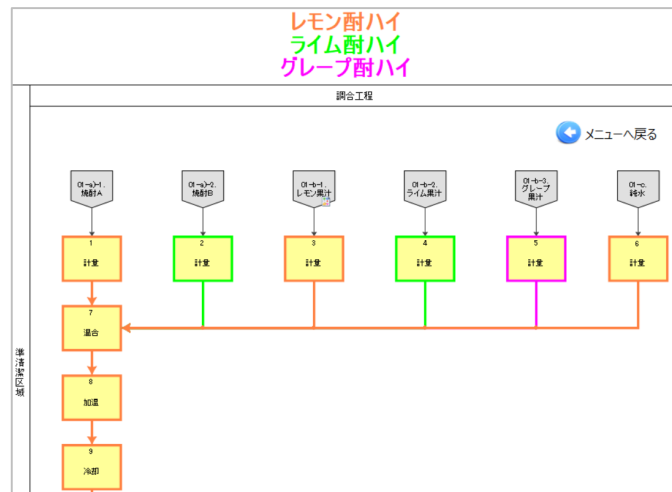
パターンB <ライム耐ハイ>



パターンC <グレープ耐ハイ>



パターン登録すると  
対象ラインを強調表示



複数パターンを同時に  
強調表示

## ■ 29. パターン強調表示

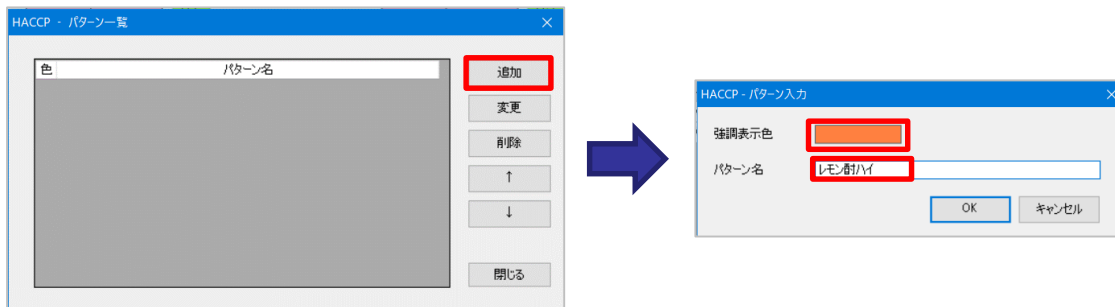
ユーザーズガイド  
P63-67を  
ご参照ください。

iGrafx®

フローダイアグラムに複数のパターンを登録することができます。

### ■ パターン名の登録パターンライン設定方法

- ①「HACCP」メニューより「パターン一覧」を選択し、ダイアログボックスを表示します。
- ②「追加」ボタンをクリックし、パターン名を強調表示色を登録します。



### ■ パターンラインの設定方法

- ① 登録対象の図形を選択し、右クリック「パターンライン一括登録」をクリックして該当の「パターン名」を選択します。



- ②「HACCP」メニューより「パターン強調表示」を選択し、対象のパターン名を選択すると強調表示されます。

# HACCPクリエイター トレーニングのご案内

iGrafxは、多機能でありながら、初めての方でも直観的に操作ができる使いやすいツールです。だからこそ、ちょっとしたコツや応用を身につけると作業効率に大きく差が出ます。

**HACCPクリエイター 基本コース**では、フローダイアグラムの基本的な描画から効率的な操作方法まで、最短の時間で習得できるよう実践的なカリキュラムをご提供します。

トレーニングの詳細は、下記のURLからご確認ください。

<https://igrafx.info/training/#training-haccp>



株式会社サン・プランニング・システムズ